

## 「コウヤボウキ」は「働き者」!?

コウヤボウキは日当たりのよい乾燥した場所で見られる小低木の植物です。高さは60~100cmで、根元からたくさんの枝を出し集団を作ります。茎は木のような表面で、硬く細いのが特徴です。キク科の植物ですが、名前からキク科の植物と連想できる人は少ないのではないのでしょうか。10月頃、写真のような花を咲かせます。

また、「コウヤボウキ」なんてとても不思議な名前です。どうしてこのような名前が付いたのでしょうか。

調べてみると、その昔、和歌山県の<sup>こうや</sup>高野山には、竹や梨、桃などの木がありませんでした。それは利潤を得る行為を戒める意味の弘法大師の教えで、果樹や竹などの商品作物の栽培が禁じられていたからです。そのため竹ぼうきが作れず、代わりにこの植物の枝を束ねた「高野箒」を作ったことから「コウヤボウキ」の名が付いたそうです。また、東大寺の正倉院には「<sup>おひとめぼうま</sup>子日目利箒」という宝物があります。この宝物は、コウヤボウキを材料にしたほうきです。

コウヤボウキの花言葉は「働き者」ですが、何となく分かるような気がしますね。



### 森の日記

#### 川の生き物教室

8月5日(日)

この夏、陶史の森でも35℃超えの猛暑日が14日以上ありました。そんな中、ちびっ子たちとその家族が「川の生き物教室」に参加しました。タモの使い方や生き物の捕まえ方のレクチャーを受けた後、一斉に雲五川の中へ。

ちびっ子は「小さいエビがタモに入った。やった~!」「ヨシノボリ、ゲット!」と歓声を上げたり「これ、メダカかな?」と捕まえた魚の名前を口にしたりしながら、川遊びを楽しんでいました。その後は、ネイチャーセンターで図鑑を広げ名前を調べて楽しみました。



### 教室のご案内

#### 10月

きのこ教室 (要申込・定員50人)

10月14日(日) 午前9時~11時30分  
陶史の森に生えるキノコを観察します。

天体教室 (要申込・定員20人、雨天中止)

10月20日(土) 午後6時30分~8時  
火星など、秋の天体を観察します。  
※第2駐車場に集合してください。

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

10月21日(日) 午前9時~11時30分  
秋の野鳥を観察します。

#### 11月

葉っぱのしおり作り教室 (要申込・定員20人)

11月4日(日) 午前9時~11時30分  
色づいた葉っぱを採集し、しおりにします。

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

11月25日(日) 午前9時~11時30分  
晩秋の野鳥を観察します。

ネイチャーセンターでは、双眼鏡や野鳥図鑑を貸し出しています。気軽に声を掛けてください。

